

## 会議録

会議の名称	令和6年度 第3回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会
開催日時	令和6年11月8日(金) 午後2時から午後3時まで
開催場所	加東市役所 3階 301会議室
議長の氏名(会長 梅野 巨利)	
出席委員の氏名	
<出席委員> ・梅野 巨利 ・柿本 靖史 ・三ツ井 英春 ・小林 邦子 ・鷹尾 正彦 ・吉田 伊佐見 ・藤井 博之 ・山上 実佳 ・村上 加奈子 ・肥田 繁樹 (欠席なし)	
出席した事務局職員の氏名及びその職	
・技監 大原 成幸 ・上下水道部長 小坂 征幸 ・上下水道部管理課長 阿江 英俊 ・上下水道部工務課長 西角 昌記 ・上下水道部管理課副課長 遠藤 祐希 ・上下水道部工務課副課長 荻野 克弥 ・上下水道部管理課主査 藤井 小夜 ・上下水道部管理課主事 西角 洋人	
傍聴者 なし	
1 協議事項 (1) 「加東市水道ビジョン・経営戦略【2025(令和7)年度～2034(令和16)年度】」(素案)について (2) 「加東市下水道ビジョン・経営戦略【2025(令和7)年度～2034(令和16)年度】」(素案)について 2 会議資料 (1) 次第、参加者名簿、配席図 (2) 資料1「加東市水道ビジョン・経営戦略【2025(令和7)年度～2034(令和16)年度】」(素案) (3) 資料2「加東市下水道ビジョン・経営戦略【2025(令和7)年度～2034(令和16)年度】」(素案) 3 会議の経過 ⇒別紙「令和6年度第3回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会・会議の経過」のとおり	
令和6年12月20日	
会長	梅野 巨利
審議会委員	柿本 靖史

(別紙) 令和6年度 第3回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>1 開会 事務局より定足数の確認を行い、本運営審議会が成立することを報告した。</p> <p>2 会長挨拶 会長より開会の挨拶。</p> <p>3 協議事項 (1) 「加東市水道ビジョン・経営戦略 【2025（令和7）年度～2034（令和16）年度】」（素案）について 事務局より資料1について説明を行い、その後に質疑応答を行った。</p>
委員	<p>p. 91 の緑のグラフで、R9 年度と R10 年度で収支が改善していることが分かる。また、p. 87 の表では、R10 年度の給水収益が大きく増えており、料金改定案が見込まれていると分かる。この財政計画の料金改定率は、何パーセントで計算しているか。</p>
事務局	<p>R10 年度に 9% の料金改定でシミュレートしている。 なお、この改定率は昨年度審議会で報告したのと同じである。</p>
委員	<p>全体のレイアウトについて、空白が多いが、今後校正を行い、ページ数を減らすことはできないか。</p>
事務局	<p>見易さ、読み易さを考慮した結果、項目がページをまたがないよう、あえて調整している箇所もある。</p>
委員	<p>見易さについては、第5章の財政計画の表は字が大きくなっており、改善されていたと思う。一方で、不要な余白も増えたように思われる。市民にとって必要な情報を目立つようにし、逆に重要性の低い箇所は圧縮して、ページ数を削減してはどうか。</p>
事務局	<p>市民にとっての見やすさについては、期限もある中で、可能な限り取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>p. 7 の図 1-2 は、あまり見ない言い回しをしているように思われるが、どこかからの抜粋資料なのか。</p>
事務局	<p>国が公開している資料からの抜粋である。 厚生労働省は、この資料や、ここに含まれる表記を多用している。</p>
委員	<p>現行ビジョンでも気になっていた点だが、資料 p. 20 のスローガンにある「おいしい水」という言葉については、定義が難しいと思う。 「高度浄水処理をしているかどうか」という観点から考えると、加東市の自己水も、県水も対応しておらず、「おいしい水」を提供していると一概に言えない状況だが、このスローガンは新ビジョンでも変更しないのか。</p>
事務局	<p>本スローガンは現行ビジョンから引き継いだものだが、元々現行ビジョンは対象期間 10 年としており、本スローガンも含めた多くの施策について、現行ビジョンから「維持」する方針としているため、スローガンの再検討はしていない。</p>

委員	今後の事業計画で、高度処理などを進めるのであれば「おいしい水」というスローガンは有効かと思う。この度更新した広沢浄水場では、最新の設備により浄水処理を行っており「おいしい水」への取り組みを満たしていると思われるが、広沢浄水場の水は、市内のどれくらいの区域をカバーしているのか。
事務局	配水池区域で言うと、中区、高区、滝野、やしろ台。また山口加圧ポンプ、馬瀬加圧ポンプを経由し、上鴨川と平木。加えて湖翠苑と、嬉野東にも届いている。 ただし、いずれも、県水との混合水となっている。
委員	東条には届いていないが、給水人口的には、30～40%が対象になっているか。
事務局	給水人口による割合は把握していない。 給水量で言うと、広沢浄水場の水は全市の25～30%程度となっている。
事務局	この基本理念では「安全・安心」を大前提として、更に「市民においしいと感じていただける」水づくりを目指すべきであるといったイメージを持ってスローガンに掲げており、そのための方策として「原水及び浄水の水質管理強化」という枠組みの中、体制作りに努めている。 頂いたご指摘どおり「おいしい」は主観的な言葉で、注意が必要な部分ではあるが、必ずしも設備の充実という意味でこの基本理念及び施策目標を定めたわけではない、ということでご理解いただければと思う。
委員	了解した。
委員	よくまとまっていると思う。空白を詰めることで、必ずしも見易くなるとは限らないので、あえてページ数を減らすのではなく、説明の充実を優先させてほしい。 とにかく、表の数字が小さすぎて読めない、というものは無くしてほしい。 料金改定による値上げについては、社会情勢的に物価がこれだけ高騰する中、当然の結果だと思っているので、「値上げしないといかに事業運営が困難か」「幾らの値上げをすることによってどれだけの効果があるか」ということを効果的に記載し、「料金改定しないと水道の継続ができない」ことを市民にしっかり訴えることが重要かと思う。
委員	ページ番号について、目次の1枚目を見ると第1章が6ページからとなっており、1～5ページが無いように見えるが、何か意図があるのか。
事務局	目次の最初のページを1ページとし、順に番号を振っている。資料2・下水道と同じ形式である。 本資料の1～5ページはページ番号の表示が漏れているので、訂正させていただく。 なお、このページ番号の考え方は、加東市総合計画と揃えている。
委員	p. 102「認可」の用語解説では、「国土交通大臣の認可」としているが、「厚生労働大臣」ではないのか。
事務局	今年度4月から管轄が変わり、水道事業も国土交通省の所管となった。
委員	過去に受けた認可のことであれば、厚生労働省でいいのではないかと？
事務局	用語解説なので、今後の内容に統一させていただいた。

<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>下水の資料には、「認可」という用語の解説欄自体が無いようだが。</p> <p>水道・下水間での調整が漏れていた。どちらかに統一させていただく。</p>
	<p>以上の質疑応答を踏まえ、指摘のあった部分、特にレイアウト等について修正を行い、資料1をパブリックコメントに掛けることを審議会で承認した。</p> <p>(2) 「加東市下水道ビジョン・経営戦略 【2025（令和7）年度～2034（令和16）年度】」（素案）について 事務局より資料2について説明を行い、その後に質疑応答を行った。</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>p. 86 からの財政計画で、令和10年度から収益的収支がプラスになっている。前回審議でも伺ったが、再度その理由について説明してほしい。</p> <p>まず、令和10年度には処理場統合整備事業の完了を予定している。このことにより、維持管理費の減少と、大きな事業計画がなくなることによる更新投資額の減少が見込まれる。</p> <p>また、投資額が減少するという事で、減価償却費や企業債償還金の減額も見込まれる。p. 87の資本的収支の表では、企業債償還金について、令和7年度には10億6900万円見込んでいたものが年々減少している箇所にも、成果が表れている。</p> <p>一方で、使用料収入は、多少の減少傾向にはあるが、事業会計が1本化した後には、基準外繰入金が必要となる。</p> <p>以上の要因により、下水道事業は、今後の収支改善を見込んでいる。</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>ページ上部「第5章ロードマップ」など、タイトルが書かれている部分が、後半の章では濃色白抜き文字となっているが、見にくいように思われる。調整するか、もしくは、章ごとに色分けをする必要もないのではないかと。</p> <p>色と印刷の出方については、今回の資料は市役所のプリンターを使っているため製本版で改善される面もあるかと思うので、冊子製本の段階で判断させていただく。</p> <p>以上の質疑応答を踏まえ、資料2をパブリックコメントに掛けることを審議会で承認した。</p> <p>4. その他 事務局より2点の連絡事項 (1) 意見書の提出について依頼 (2) 次回審議会開催日の事前通知</p> <p>5. 閉会</p>